

# 情報化施工見学会・研修会報告書

地整名： 北陸地方整備局

1. 報告内容	該当番号(右記から選択)	1	1. 見学会	2. 研修会
2. 主催者	新潟国道事務所 工務第一課	3. 開催日	平成22年6月10日(木)	

## 4. 工事概要(研修会の場合は、記入不要)

1)工事名: 日沿道 神林舗装その3工事

2)工期: 平成21年9月19日から平成23年1月31日

3)施工場所: 村上市牧目地先～村上市下助測地先

4)請負金額: ¥361,200,000(当初)

5)請負者: 福田道路株式会社

6)施工規模・主要工種等:

舗装工27500㎡ 路床改良10000㎡ 排水工1式 情報box1式 防護柵1式

## 5. 見学(研修)対象情報化施工技術

### 1)技術の概要

情報化施工の普及・促進を目的として、国土交通省職員及び土木施工業者を対象に実施。  
トータルステーションを用いてモーターグレーダのブレードを設計高さに自動調整し敷均しを行う。また、出来形管理については任意の点にプリズムを据付け、トータルステーションによる観測を行う事により、その地点の設計高さ及び現況の高さを計測する、これにより従来の様にオペレータの技術によらず、一定の精度で施工が可能となる、また検測に掛かる人員を減らすことが可能となり、重機使用下での接触事故の危険性も低減することが出来る。

### 2)情報化施工を導入した工種・規模

路盤工 9000㎡

### 3)使用建機(機器)等

モーターグレーダ,トータルステーション

### 4)使用システム

3次元マシン制御システム

## 6. 参加者数(人)

32人

## 7. 見学会(研修会)現地状況(写真貼付)



## 8. 見学会(研修会)開催にあたって、うまくいった点・反省点など

1)うまくいった点: 職員、施工業者併せての説明会にできた

2)反省すべき点:

3)その他:

## 9. 見学会(研修会)参加者の反応等(コメントできる範囲で記入してください。)

・説明を受けた限りでは、まだまだコスト面の問題が有るとのことだったが、一定の精度を確保し、より施工の効率化を図ることが出来る為、今後広く普及し、現在よりも低コストで実施出来るようになっていけばと思う。